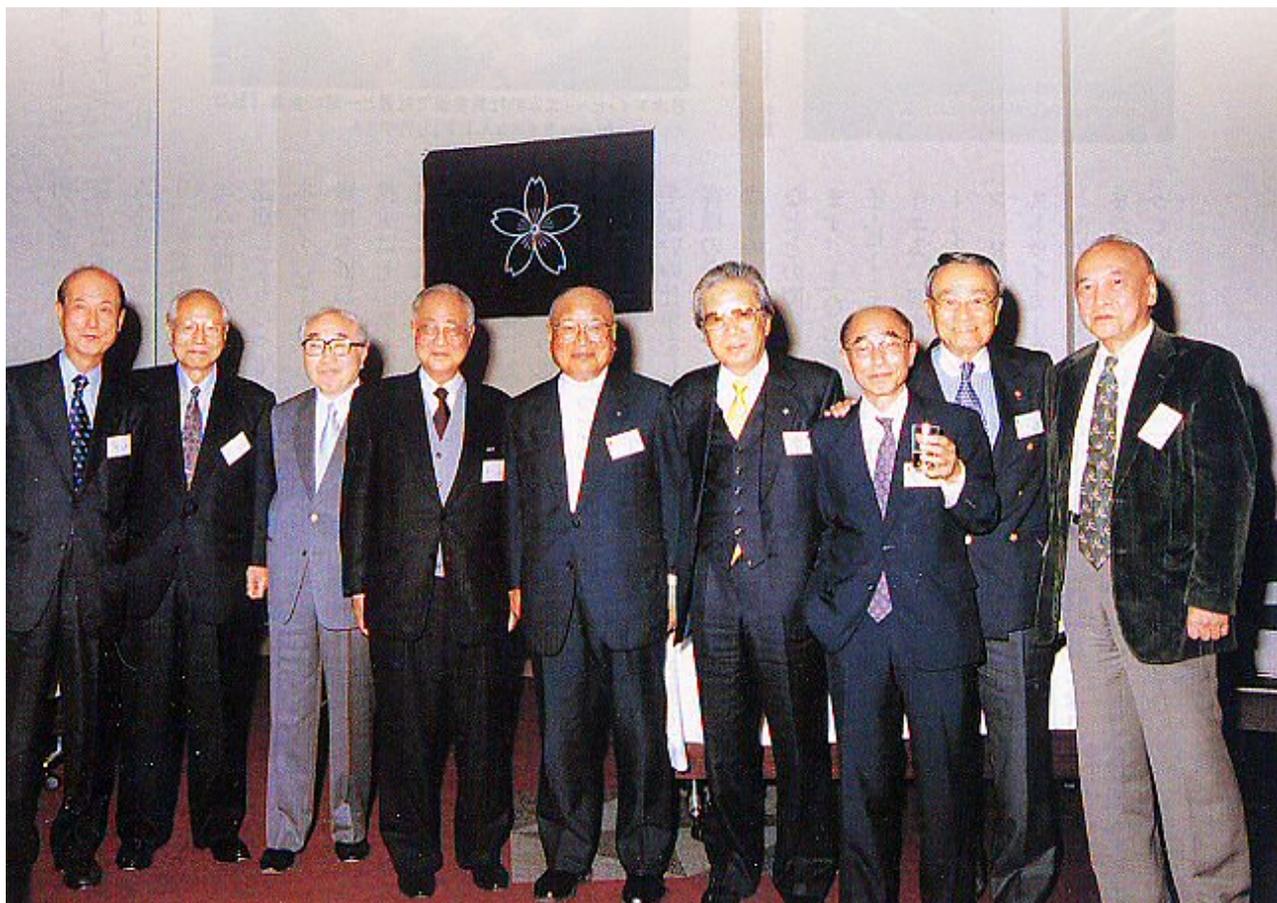


或る日の「桜友会」

2005.2.8 財界「ゆかいな仲間」より



右から、菅 忠義さん（桜友会理事、学習院大学教授）、仙波二郎さん（鎌倉桜友会長、インターグループ代表）、稲山 清さん（関西桜友会長、元森田綿業専務）、池田浩規さん（学習院専務理事、交通新聞社前会長）、中條高德さん（東京中央桜友会長、アサヒビール名誉顧問）、亀井 泓さん（桜友会長、日本証券代行相談役）、永田良昭さん（学習院大学学長）、村上智也さん（桜友会副会長、元三井生命保険専務）、小野田 博さん（桜友会副会長、東京ラソニック社長）・・・学習院創立百周年記念会館にて

学習院出身者相互の親睦・交流、発展のための活動をしているのが「桜友会」（おうゆうかい）（いわばOB会）である。その会員数は十万人を超えた。私学としては決して大きな規模ではないのに、これだけの会員数に膨れ上がったのは歴史の古さによる。

学習院は弘化四年（1844年）、京都で公家の学問所として開設されたのが始めである。宮内省管轄下で終戦を迎えた。占領時代、存立を危ぶまれた時期があったが、私学として新発足。文部大臣を務めた大哲学者の安倍能成院長の下で、不死鳥のように蘇った。

この日、大学一期生の仲間たちが大勢集まった。場所は学習院の百周年記念講堂である。我々は戦後の混乱期に入学した。同級生は百名余りに過ぎない。

学校が運営費に困り、在校生の家庭から貴金属、絵画などの財宝を供出してもらい、院内でバザーを開いたことがある。我々は売り子を務めた。戦後のドサクサで一儲けした人などが大型外車でやってき

て、品物を吟味もせずに買い漁っていった。有難くもあったが、その傲慢な態度に、強い反感を持ったことが、まるで昨日のように思い出される。

現在の院生は大学一期生のこんな苦労や、創立八十五周年の記念募金で、安倍院長自らが各企業を回られて、辞を低くして募金を集められたことなど、全く知らないはずである。

こんにち学習院の財政基盤は大きく改善されたが、歴代院長をはじめとする学校当局の努力、とりわけ田島義博・現院長の功績は誠に大きい。その田島・現院長を終始バックアップしてきたのが「桜友会」である。

我々、大学一期生には写真には写っていないが、共同通信社長の犬養康彦君、神社庁統理の久邇邦昭君、レンゴー社長を務めた故・長谷川薫君、靖国神社奉賀会長の久松定成君などがある。桜友会のメンバーは多士済々である。(中條記)

「中央寮歌祭 2015」参加報告

「中央寮歌祭 2015」は平成 27 年 8 月 9 日、新宿の京王プラザホテルで開催されました。参加校数 52 校、出席者総数約 500 名、全国に数多くある寮歌祭の中で最大規模の寮歌祭です。

学習院は中名生正昭様（旧制高等科昭和 24 年卒）を筆頭に 12 名の桜友会会員、現役大学応援団員 4 名、総勢 16 名が参加、「大瀛の水」を高唱、学習院の伝統と「勢いのある学習院」をひろく披露することが出来ました。 【文責：中高桜友会副会長・深野靖弘（昭和 35 年高等科卒）】





第 85 回東京箱根間往復大学駅伝競走 平成 21 年 1 月 2 日(金)～3 日(土)

学習院大学 法学部政治学科 4 年 川内優輝君

陸上競技部・川内優輝君 第 85 回箱根駅伝大会の学連選抜チームに選出されました（平成 20 年 11 月 14 日） 2009 年 1 月 2 日・3 日に渡って開催される第 85 回東京箱根間往復大学駅伝 競走の学連選抜チームの一員として本学法学部政治学科 4 年の川内優輝君が選出されました。川内君は先だっておこなわれた箱根駅伝予選会（10 月 18 日開催）にて 20k m を 1 時間 1 分 20 秒、個人順位 38 位という成績をおさめ、自身 2 回目の箱根駅伝出場のチャンスをつかみました。1 月 3 日、午前八時に復路の区間 6 区を走りました。